

陸前高田市総合計画審議会 第1回分科会（産業建設） 議事録

日時：平成30年7月17日（火）15：00～16：35

場所：陸前高田市消防防災センター 2階 研修室

【企画政策課 課長補佐】

資料1から資料4までにより説明

【委員】

基本政策1「生活道路・交通環境を整備する」の基本政策の達成に向けて、「観光地における2次・3次交通の構築」とあるが、構築の具体的なイメージを教えてください。

【まちづくり戦略室長】

矢作地区や広田地区等の一般住民向けとしては既存の公共交通で対応するが、中心市街地と観光地を結ぶ公共交通としては、原付電動バイク等を活用していくものである。なお、原付電動バイク等の管理方法等については未定である。

【委員】

2次・3次交通は観光客のほか、地元住民にも関係するものと思われるため、地元住民の利用増につながるよう取り組んでいただきたい。

【委員】

電動カート用の専用道路の整備が必要になるものと思われるが、いかがか。

【建設課長】

旧道は補修のうえ市に移管されるが、電動カート用としてすぐに整備することはできない。自転車の空間利用の話もあるため、併せて検討していきたい。

【委員】

道路は草刈りなどの作業も伴うが、どのように管理していくのか。

【建設課長】

市道はシルバー人材センターに業務委託しているが、移管される道路については建設業協会や地域などへの委託も検討していきたい。

【委員】

基本政策1「生活道路・交通環境を整備する」の指標案として示されている「市道舗装率」について、目標値は5年後に現状比1パーセント増、10年後に現状比2パーセント増となっているが、実現可能性が高いため、もっと大きい目標を設定するべきではないか。

【建設課長】

あくまで参考として提示したものであるため、よりよい指標があれば御提案いただきたい。

【委員】

農林水産業の担い手確保について、移住を希望する担い手の住み家の確保について記載がない。

【建設課長】

居住するための所得制限はあるが、市の災害公営住宅に 70 戸空きがあることから、これらを利用することについて検討の余地がある。

【企画部長兼企画政策課長】

空き家バンクの登録促進、災害公営住宅や市職員住宅の市営住宅化、民間アパートの建設拡大により担い手の住まいを確保していきたい。

【委員】

商工会館前に、複数のテナントが入居できる建物ができるようだが、テナントはどういう事業者を対象とするのか。

【建設部長兼都市計画課長】

対象は仮設店舗で営業中の事業者のみを対象とするものではないが、具体についてはこれから詰めていくこととしている。

【委員】

基本理念 3 に「次世代につなげる持続可能なまちづくり」とあるが、市の職員は担当が一定周期で変わっており、特に農林水産業の振興には影響あるため残念に思っている。他県では専属の職員を長期的に配置している例もあるが、同じような配置について検討していただきたい。

【農林水産部長兼農林課長】

人口減少しているなかで職員を増やすこともできないため、実状としては一般職が専門職の業務を担当しているものの、専属職員に任せるよりは効率的と考えるが、人事担当と相談してみたい。

【委員】

所有者が遠方にある山の管理はどのようにしていくのか。

【農林水産部長兼農林課長】

国では森林環境税を創設する方針であり、その税収を活用して維持管理することも考えられる。また、地域おこし協力隊と長期的な契約を締結して管理する仕組みも検討していきたい。

【委員】

財産区の分収林はどのようにしていくのか。

【農林水産部長兼農林課長】

所有者の状況について今後調査していきたい。

【委員】

基本計画には実施計画も今後含まれてくるのか。具体的に何をするのかが分かるため、できれば含めていただきたい。

【企画部長兼企画政策課長】

実施計画については、国の動向や予算の状況を踏まえて、基本計画とは別に策定することとしている。

【委員】

市民への分かりやすい見せ方が必要であるため、総合計画においても、復興計画と同様にロードマップを示していただきたい。

(以上)